



2025年3月期 第3四半期(FY2024 3Q) 決算概要

2025年2月5日

千代田化工建設株式会社

(証券コード: 6366)



© Chiyoda Corporation 2025. All Rights Reserved.

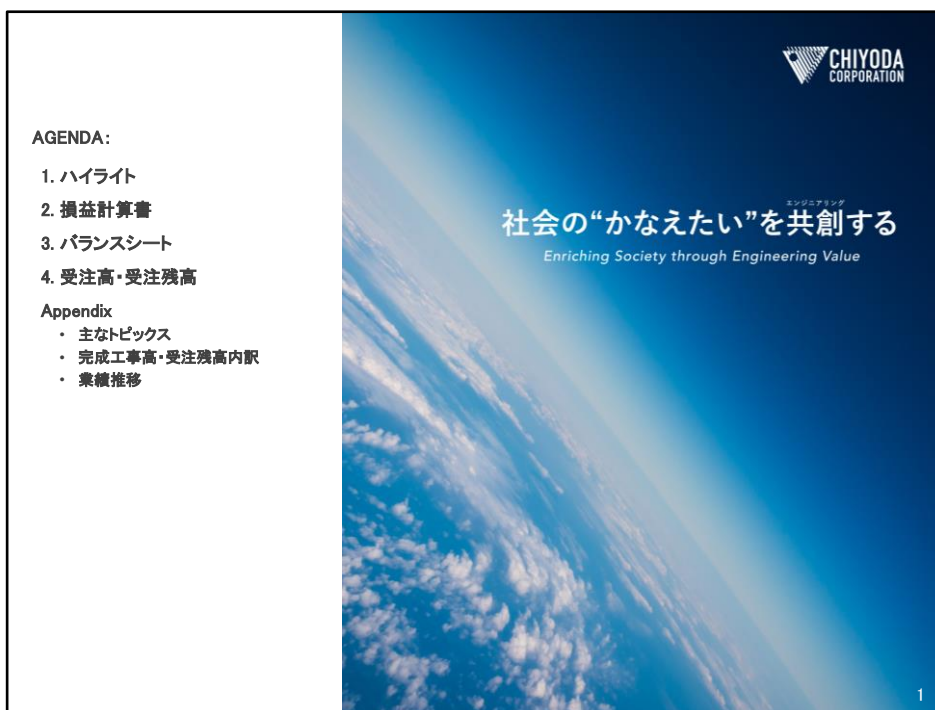
説明者



代表取締役社長
太田 光治



代表取締役専務執行役員 CFO
出口 篤



CFOの出口です。

本日は決算説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。
2025年3月期第3四半期決算の概要について、資料に沿って、
ご説明申し上げます。

1. ハイライト

業績

- ✓ 前年同期比、各段階利益において増益
国内外の手持ち案件の順調な進捗に加えて、ゴールデンパスLNGの第1系列の契約改定に伴う採算の改善が利益を押し上げ

ゴールデンパスLNG

- ✓ 2024年11月、CB&I社とCIC社*による新JV体制下でのEPC契約について、第1系列の契約改定に顧客と合意
- ✓ 残る第2系列/第3系列の契約に関して、顧客と協議を鋭意継続中

通期見通し

- ✓ 遂行中案件の着実な収益化、上期の海外完工済み案件での追加収益の計上により、業績予想を引き上げ

* Chiyoda International Corporation (千代田化工建設の米国100%子会社)



2

まず、右下3ページ「2. 決算ハイライト」をご覧ください。

一点目は、業績についてです。

第3四半期は、前年同期比、各段階利益において増益となりました。グループ会社を含めた国内外の手持ち案件の順調な進捗に加えて、米国ゴールデンパスLNGの第1系列の契約改定に伴う採算の改善が利益を押し上げました。

二点目は、ゴールデンパスLNGの状況についてです。

先程申し上げたとおり、昨年11月に、CB&I社との新たなジョイントベンチャー体制でのEPC契約について、第1系列の契約改定に顧客と合意いたしました。残る第2系列/第3系列の契約に関しても、顧客と協議を鋭意継続しております。

三点目は、通期業績見通しに関してです。

ゴールデンパスLNGの採算改善に加え、国内外遂行中案件の着実な収益化、海外完工済み案件での追加収益の計上等により、本日業績予想の引き上げを行いました。

2. 損益計算書

(単位:億円)						
	FY2023 3Q	FY2024 3Q	増減	FY2024 修正後 ^{*2} 通期予想	進捗率	(参考) 修正前 通期予想
完成工事高	3,975	3,461	△514	4,600	75%	4,500
完成工事総利益	286	328	42	395	83%	330
完成工事総利益率	7.2%	9.5%	+2.3pt	8.6%	-	7.3%
販売費・一般管理費	△108	△130	△22	△175	74%	△160
営業利益	178	198	20	220	90%	170
営業利益率	4.5%	5.7%	+1.2pt	4.8%	-	3.8%
経常利益	236	251	14	275	91%	200
純利益 ^{*1}	157	209	52	220	95%	150
為替レート(円/米ドル)	142	158		150		150

1 分野別 内訳	分野	FY2023 3Q	FY2024 3Q
	エネルギー	132	224
	地球環境	155	105
	合計	286	328

*1 親会社株主に帰属する四半期純利益
*2 2025年2月5日に適時開示



3

続きまして、右下3ページ、「2. 損益計算書」をご覧ください。

第3四半期の実績を表の濃い水色の列で、前年同期対比の増減をその右列にお示ししています。修正後の通期予想を右端から数えて3列目、通期予想に対する進捗率をその右列にお示ししています。また、参考として右端の列に修正前の予想値をお示ししています。

第3四半期の完成工事高は**3,461** 億円、前年同期に比べ、マイナス**514** 億円の減収となりました。これは主に、今期、インドネシア銅製錬が完工したことによるものです。

完成工事総利益は**328** 億円、前年同期比**42** 億円の増加です。
完成工事総利益率は**9.5%**で、前年同期比**2.3** ポイント改善しています。
販売費・一般管理費は**130** 億円、前年同期比**22** 億円の増加です。
営業利益は**198** 億円、前年同期比**20** 億円の増加です。
経常利益は**251** 億円、前年同期比**14** 億円の増加です。
純利益は**209** 億円で、前年同期比**52** 億円の増加となりました。

なお、欄外に注釈をいれておりますが、完成工事総利益の分野別の内訳は、エネルギー分野が**224** 億円、地球環境分野が**105** 億円となりました。

3. バランスシート

(単位:億円)

	FY2023 4Q	FY2024 3Q	増減		FY2023 4Q	FY2024 3Q	増減
流動資産	4,044	4,236	192	流動負債	4,122	3,904	△218
現金・預金等	1,021	1,607	586	営業負債*3	3,225	3,208	△17
営業資産*1	465	384	△81	工事損失引当金	365	280	△85
JV持分資産*2	1,470	1,586	116	固定負債	87	282	195
固定資産	226	221	△5	純資産	61	271	210
総資産	4,270	4,456	187	負債・純資産	4,270	4,456	187
				自己資本	49	252	204
				自己資本比率	1.1%	5.7%	+4.5pt

*1 営業資産＝受取手形・完成工事未収入金及び契約資産＋未成工事支出金
*2 JV持分資産＝ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金
*3 営業負債＝支払手形・工事未払金＋契約負債(未成工事受入金)



4

次に、バランスシートをご説明します。右下4ページのスライドをご覧ください。

左表の一番下、総資産は、前年度末4,270 億円に対して、当第3四半期末は4,456 億円です。

資産・負債の各項目の金額については、手持ち案件の進捗に伴う増減はありますが、それ以外では大きな変動はありません。

また、右表にてお示しておりますとおり、自己資本は、前年度末比204 億円増加し、252 億円となり、自己資本比率は5.7%となりました。

4. 受注高・受注残高

(単位:億円)

	FY2024 3Q 受注高	FY2024 3Q 受注残高
エネルギー分野	649	6,044
地球環境分野	774	1,974
合計	1,423	8,018

【受注残高 主要案件】

	1,000億円 以上	500億円 以上	50億円 以上
エネルギー分野	カタール・NFE LNG	米国・ゴールデンパスLNG	—
地球環境分野	—	インドネシア銅製錬	バイオ医薬品原薬製造設備 先端素材 生産設備 CO ₂ →CO 変換プラント 医薬品製造設備*

* 国内グループ会社受注案件

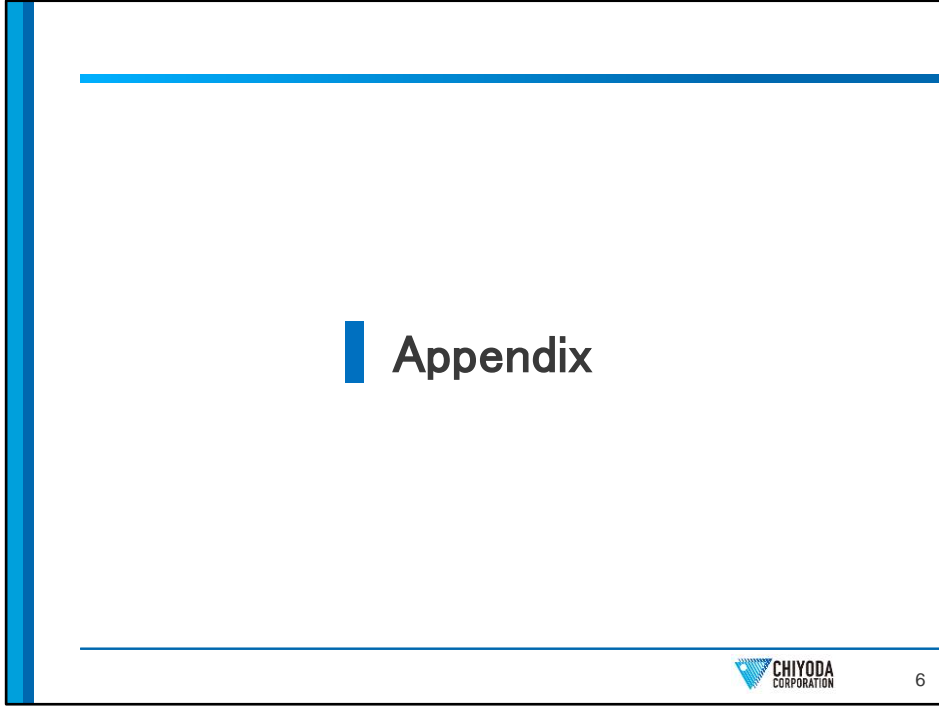


5

続きまして、右下5ページ「4. 受注高・受注残高」をご覧ください。

第3四半期の受注高は1,423 億円、第3四半期末の受注残高は8,018 億円を確保しています。

受注残高の主要案件はスライド下部の表をご覧ください。



右下6ページ以降に、第3四半期を中心とした主なトピックスなどを掲載していますのでご覧ください。

主なトピックス

インドネシア銅製錬 2024年11月、完工

- ✓ 単一ラインとして世界最大級の生産能力を持つ銅製錬所
当社グループが2021年に単独でEPC業務を一括受注し、遂行

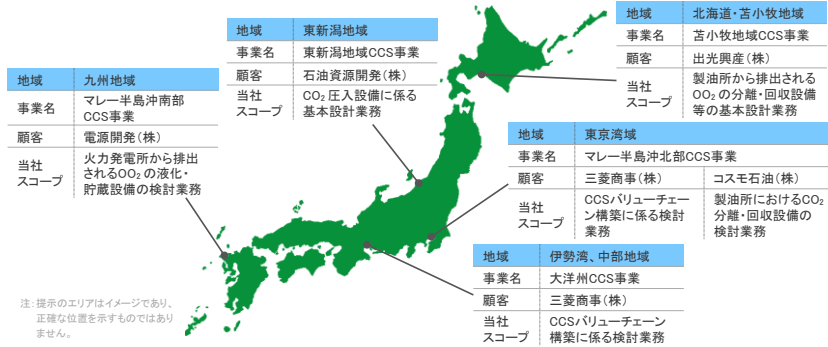


Courtesy of P.T. Freeport Indonesia

主なトピックス

JOGMEC「先進的CCS^{*1}事業に係る設計作業等」^{*2}採択事業の検討・基本設計業務に多数参画

✓ 当社のLNGプラント建設で培ったガスの低温液化技術やスケールアップの知見を活かして、カーボンニュートラルの実現に向けて、CCSの早期の事業化に貢献



*1 Carbon dioxide Capture and Storageの略。二酸化炭素回収・貯留

*2 独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構(JOGMEC)による、2030年までのCCS事業開始に向けた事業環境を整備するため、模範となる先進性のあるプロジェクトを支援する枠組み。2023年度に実施された事業性調査に加えて、CCS/パリ्यूテーション全体の設計作業等を行うもの

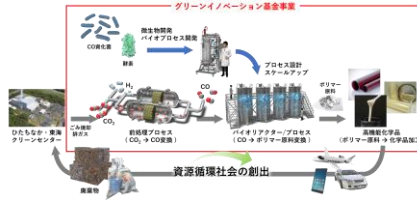
主なトピックス

◆ CO₂ → CO変換プラント(中型試験機) EPC業務を受注

- ✓ 本プラント建設の**基本設計業務に続いてEPCを受注**案件の**初期段階から顧客に伴走し、社会価値を共創**
- ✓ カーボンニュートラル社会の実現に向けて、**CCUS*¹の社会実装に貢献**

顧客	積水化学工業(株)
当社スコープ	EPC(設計・調達・建設)
建設地	茨城県ひたちなか市

※ 顧客がNEDO*²のGI基金事業*³に採択され実施する事業



「バイオものづくり技術によるCO₂を原料とした高付加価値化学品の製品化」の全体像(積水化学工業(株)提供)

◆ 固体電解質大型パイロット装置 基本設計業務を受注

- ✓ **全固体電池の実用化**に向けて、その基幹材料である**固体電解質の量産技術確立に貢献**

顧客	出光興産(株)
当社スコープ	大型パイロット装置の基本設計
建設地	千葉県市原市



固体電解質
(出光興産(株)提供)

※ 顧客がNEDOのGI基金事業に採択され実施する事業

◆ JFEエンジニアリング(株)との協業の検討開始

- ✓ 今後活発な投資が見込まれる**国内の脱炭素分野**を中心に、**案件単位でFS*⁴/FEED*⁵業務、EPC業務を共同で受注・遂行**することを目的とする
- ✓ エンジニアリング業界全体のリソースに限りがある中、両社の保有する**リソースと知見を効果的に活用**することを旨とする



*1 Carbon dioxide Capture, Utilization and Storageの略。CO₂の回収・貯留・有効利用

*2 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

*3 グリーンイノベーション基金事業

*4 Feasibility Studyの略。概念設計に基づき行われる事業可能性検討

*5 Front End Engineering Designの略。概念設計・FSの後に行われる基本設計



完成工事高・受注残高内訳

(単位:億円)

FY2024 3Q 完成工事高

【分野】

エネルギー	2,197	63%
■ LNG・その他ガス関係	1,958	57%
■ 石油・石油化学	239	7%
地球環境	1,263	37%
■ 医薬・生化学・一般化学関係	225	7%
■ 環境・新エネルギー・インフラ他	1,038	30%
合計	3,461	100%

【地域】

海外	2,749	79%
■ 中近東・アフリカ	1,646	48%
■ 北中南米	137	4%
■ アジア・オセアニア	946	27%
■ その他海外	20	1%
■ 国内	712	21%
合計	3,461	100%

FY2024 3Q 受注残高

【分野】

エネルギー	6,044	75%
■ LNG・その他ガス関係	5,714	71%
■ 石油・石油化学	331	4%
地球環境	1,974	25%
■ 医薬・生化学・一般化学関係	969	12%
■ 環境・新エネルギー・インフラ他	1,005	13%
合計	8,018	100%

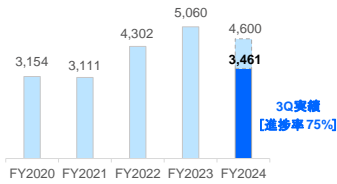
【地域】

海外	6,285	78%
■ 中近東・アフリカ	4,659	58%
■ 北中南米	864	11%
■ アジア・オセアニア	746	9%
■ その他海外	16	0%
■ 国内	1,733	22%
合計	8,018	100%

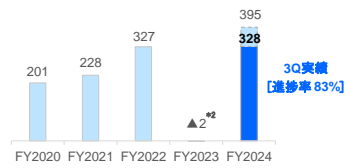
業績推移

(単位: 億円)

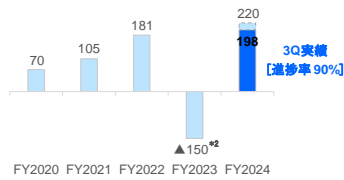
完成工事高



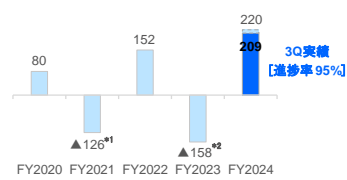
完成工事総利益



営業利益



純利益



*1 特別損失 ▲204億円含む(顧客との和解等によるプロジェクト関連損失)
 *2 ゴールデンパスLNGプロジェクトに関連する追加費用 ▲370億円含む

この資料には、事業戦略・本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみに基づいて投資判断を下すことは控えさせていただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】
千代田化工建設株式会社
総務部 IR・広報・サステナビリティ推進セクション
E-Mail : ir@chiyodaCorp.com



© Chiyoda Corporation 2025. All Rights Reserved.

以上で決算概要の説明を終わります。